

ごみかんよりお知らせ

私が所属するNPOは、地元多摩市から「ごみの分別相談」業務を委託されています。ここ数年ぐっと増えてきたのが「実家の片づけ」の相談です。他市から週末ごとに実家に通っている人が、分別や出し方を確認に来られるケースが多いです。それから、体力のあるうちに自宅のモノの整理をしたい、という方も増えてきました。

相談者には分別ガイドやごみ・リサイクルカレンダーに沿って説明しますが、実際、それはもう他人事ではなく…切実に自分事になってきました。そこで、2月の市民ごみ大学セミナーは、ズバリこのテーマに決まり！ ぜひご予約ください。



ご予約ください

市民ごみ大学セミナー

2月8日(土)

13:30～16:30
国分寺労政会館 第3会議室

「(仮題) あふれるモノと向き合う 実家や自宅の修活&片付けの現場より」

講師：千葉企業(株) 会長 千葉 一枝 さん
一般社団法人 協働作業所
「よって屋」代表 重田 ますみ さん

講師のお二人は片付けのプロです。
今回のごみ大学セミナーは、一番身近で切実な
「我が家のごみ問題」に向き合います。

*申し込み不要、直接会場へ *参加費 会員 500円/一般 1000円

『容器包装をみなおそう！
海洋プラスチックごみ削減に向けて』
増訂版ができました！

3R全国ネットワークが昨年秋に発行した3R
環境教育用の小冊子『容器包装をみなおそう！
～海洋プラスチックごみ削減に向けて～』。

大変好評で、増刷を重ねていましたが、このほど4ページ増やし、情報を更新した「増訂版」ができました。

1冊 100円。
希望者は下記へご連絡を。
✉ reuse@citizens-i.org
TEL 03-3234-3844
FAX 03-3263-9463

*送料、振込料は
ご負担をお願いします。



*566のページ

今号のごみつとは、武蔵野市議の西園寺さんに「水は命を守る」とりで：民営化の幻想に惑わされずに水を守るには」として、3回の連続学習会の内容をまとめて書いていただきましたが、私も最後の回の「どうする日本の水道」に参加しました。

台風15号によってライフラインが断られた千葉県。市街地で被害に遭った方がテレビのインタビュアーを受けて「私は電気よりも、蛇口から水が出ないことが恐怖でした」と答えていたのが印象に残っています。

西園寺さんの記事にある通り、日本は蛇口から出る水をごくごく飲める数少ない国。東京都など大都市は、水道水を高度水処理して(浄水場に高機能の水処理機がつけられているようなもの)、おいしくて安全な水になっています、ということ、以前は盛んにPRしていましたが、原発事故があり委縮してしまっただ感があります。そして、ますます多くの人が、ガソリンより高いと言われるペットボトル入りの水を安易に求めるようになってしまった。

命に直結する水道こそは、未来永劫、自治体が管理運営していくのだと思込んでいたのに、一年前の12月、自治体ごとに民営化(コンセッション)が可能になるよう水道法が改正された。民営化とはこれまでの民間委託とは別もので、自治体が水道施設の所有権だけ持ち、運営権は民営へ、つまり、公共の財産を使って企業が利益を出すということです。

我が家の蛇口から出てくる水が、どこからきてどんな処理をされ、安全性はどうかなのか、民営化以前に、私たちは「我が家の水」のことを知らな過ぎたのでは…。だから水道法改正案は2016年から17年にかけてモリカケ問題の陰でこそつと法案作りがされ、騒がれる前に成立してしまっただ。コンセッションは権力者がお友だちに我田引水するための巧妙な契約」という講師の辻谷さんの言葉に「またか!」と怒りがわきました。ペットボトル削減のためにも水道を監視しましょう!

ごみ・環境ビジョン21



年会費 = 個人会員 3,000円 団体会員 6,000円
賛助会員 10,000円 (一口)

郵便振替 □座名：ごみ・環境ビジョン 21
□座番号：00130-1-603521

◆ごみつと・SUNのお受け取り方法は

- ①ヤマト運輸のDM便
- ②メール添付でのPDF配信 の二つがあります。
②をご希望の方はメールにてお申し込みください。

◆振替用紙にはご住所・お名前・お電話番号(FAX)をご記入ください。また、住所変更があった場合はお知らせください。DM便は移転先へ転送されませんので戻ってきてしまいます。

◆記事を転載する場合はご連絡ください。